

別紙1 A委員からの意見提出

区分	意見
基本構想	<p>『受け継いでいきたい安芸高田市内らしさ』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ↑ これは【将来像】と言えるか？ → 「安芸高田市らしさを受け継ぐ」ならまだ理解可。 ・ 「らしさ」が何であるかの定義・市民間での腹落ちは必須。 ・ （とけあい、芽ぶき、一つに就る。）はこれまで受け継いでいない。
	<p>『守っていききたい地域の暮らしの機能の維持』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ↑ これも【将来像】と言えるか？ → 「暮らしの機能の維持」なら理解可。
	<p>『新しい価値観を生む・まちの魅力を育む機能の強化』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい価値観を生む…機能 って何？ ・ そもそも、将来像に掲げられる「新しい価値観」をどう定義するのか？ ・ まちの魅力を育む機能… <p>「まちの魅力」をどう定義するか？ 「まちの魅力を育む機能」とは何か？</p>
	<p>【3つの姿勢】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「3つの姿勢」の中に”行動”とあるが、市民・住民の行動につながるような”政策目標・施策体系”がない。 ・ 市民の主体的な行動が持続するような社会を目指したい。
基本計画	<p>①インナープロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 注1：市民に対して、市の魅力や取組を効果的に伝えて、市民の愛着や誇りを高めるための活動 ・ 市の魅力とは何か？ 言語化できているか？ →それを伝えれば、愛着や誇りが高まるのか？
	<p>②アウタープロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 注2：市外の人々に対して、市の魅力を発信し、移住・観光・関係人口・ビジネスの誘致など… ・ 移住・観光・ビジネスの誘致につながる「市の魅力」と何か？

区分	意見
基本計画	<p>P.9 具体的に何をどのような状態にしたいのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策目標 1 → 施策体系 ②、③の行政改革は必要だが、政策目標「市民と共に…」と関連性がない。 ・政策目標 2 →④は”検討”では基本計画として弱いのでは… ・政策目標 3 →④ 同上
	<ul style="list-style-type: none"> ・政策目標と施策体系の間に”施策分野”の項目があった方がわかりやすい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の事務事業を寄せ集めたものになっていないか？
	<ul style="list-style-type: none"> ・将来像を実現するための施策体系（組織体制の見直しも含め）という視点、目標設定が欲しい
	<p>【現状】 【課題】 【主要取組】 とあるが、【目指すべき姿】がない。 本来は【目指すべき姿】－【現状】＝【課題】であり、そのギャップを埋めるために【施策】がある。 あるべき姿を思い描き、しっかり言及すべきである。フレーム(書式)を再考すべきではないか。</p>
	<p>P.10 【課題】 認知度が上げられているが、認知度を高めるだけでは若年層の参画は期待できない。 意義が感じられる活動（意思決定に参加できる仕組み）にしていく必要がある。</p>
	<p>P.20 【課題】 「次代のトップアスリーの輩出に繋げていくことが求められている」のか？認識を伺いたい。 ↑もし上記の通りであれば、【主要取組】との整合性がない。</p>

区分	意見
基本計画	<p>P.22 拠点として「道の駅三矢の里あきたかた」の集客を強化する方針は理解できるが、周遊ができてこそ価値がある。周遊を意図した施策が求められるのではないか。また目標指標について”県外観光客割合”が仮設定されているが、県外を対象とする意図が見えない。</p>
	<p>P.24 【主要取組】に説明がなく、いきなり各課の事業になっている。</p>
	<p>P.26 【課題】 「多様な性のあり方」?? ジャンダーの話はここで関係性が薄いと思われるが…。 ①社会の未来を担う子供達を育てる制度と仕組み の話をすべきところだが、経済支援に矮小化されている。個人の可能性を磨き、実社会の中で、その一員として役割を担える存在を育むことが教育の本懐である。地域社会との連携、実社会での試行錯誤を通じ、必要な力を自ら獲得していけるような本来の”学ぶ力”が身に付く制度や仕組みを描き、施策立案して欲しい。</p>
	<p>P.30 【主要取組】はそれはそれで必要であるが、「子どもたちの共感性、内発性、創造性を伸ばす」ことに直接的に作用するものとは言えない。</p>
	<p>P.31 【現状】 「自ら考え、自立する子ども」の育成はその通り。だが、そのために必要な力として「自己決定」が欠如している。自分で決めた結果について自ら引き受ける感性を育まねば、自立には至らない。自己決定し、その結果を享受しながら、自らの可能性を磨くことに喜びを覚え、社会に対して働きかけていく、という学習環境を如何に提供するか？ そのためにどのようなハード・ソフト両面で支援ができるか？という視点で再構築してほしい。</p>